

報告事項ウ

令和2年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査結果（得点状況等）について

令和2年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査結果（得点状況等）について、別紙のとおり報告します。

令和2年4月15日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

令和 2 年度 鳥 取 県 立 高 等 学 校
入 学 者 選 抜 学 力 検 査 に お け る 得 点 状 況

鳥 取 県 教 育 委 員 会

令和2年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況

1 教科別得点の平均点及び総得点の平均点(全日制課程)

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
令和2年度	27.7	28.5	25.7	27.0	28.4	137.3

令和2年度入学者選抜学力検査5教科受検者数3,174人
各教科50点満点、合計250点

(参考) 過去10年間

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
平成31年度	26.9	30.1	27.3	31.3	24.6	140.3
平成30年度	29.9	30.4	24.6	28.6	27.7	141.2
平成29年度	28.3	27.6	27.4	31.4	29.1	143.8
平成28年度	27.9	27.4	25.2	30.6	30.3	141.3
平成27年度	29.6	33.4	26.4	27.2	28.9	145.5
平成26年度	25.6	24.9	28.5	26.7	30.7	136.3
平成25年度	23.5	27.1	27.5	25.2	27.1	130.5
平成24年度	25.3	30.0	22.8	29.2	26.6	133.9
平成23年度	24.9	29.1	23.2	29.1	26.8	133.1
平成22年度	29.1	30.2	26.5	25.4	22.2	133.3

<学力検査得点状況に見られる傾向>

国語 基礎的・基本的な言語事項を問う問題から、自分の考えを根拠を明確にして表現する問題など幅広く出題した。言語事項を問う問題においては、問題によって正答率に大きな差が見られた。論理の展開や、主題を読み取る問題、および与えられた条件に従って的確に表現する問題の正答率が低かったが、平均点は昨年度よりやや上昇した。

社会 基礎的・基本的な知識、概念や技能を問う問題、既習の知識を活用した理解をみる問題、資料を適切に活用しながら、思考・判断・表現できているかをみる問題を中心に問題を出題した。様々な資料やグラフを読み取り分析する、資料活用の習得に関する内容については正答率が高かった。一方で、基礎的・基本的な知識や概念を関連付けたり、総合的に判断したりする問題の正答率が低かった。平均点については、昨年よりやや下がった。

数学 基本的事項を問う問題を多く出題するとともに、根拠を持って数学的な表現を用いて説明する問題及び事象の本質を捉え、式やグラフなど数学的に表現する問題を出題した。基本的な計算や単純に数値を求める問題は正答率が高かった。しかし、必要な情報を読み取って、その情報を用いて数値を求めたり、日常生活にみられる事象を数理的に考察し、式やグラフなど数学的に表現したりする問題は、誤答率及び無答率が高かった。平均点については、昨年より下がった。

理科 様々な分野の基礎的・基本的知識の理解度を問う問題から、実験・観察の結果や問題文中の条件を読み取り、それをもとに考察(計算も含む)する問題を出題した。段階を踏んで計算をする問題やグラフを作成する問題の正答率が低かったことにより、昨年度より平均点が低くなったと考えられる。

英語 3つの領域を中心に、知識や技能の定着に加え、それらを活用した思考力、判断力、表現力等を測るために、実生活で見られる会話やまとまりのある文章を題材に出題した。求める情報を直接的に聞き取ったり読み取ったりする問題の正答率は高かったが、得られた情報を求められている条件にあわせて編集したり、思考・判断しながら表現したりして解答する問題での正答率は低かった。基本的な問題における正答率が昨年度より上昇し、平均点が高くなったと考えられる。

2 各教科及び総得点における得点分布(全日制課程)

【各教科における度数分布】

得点		教科	国語	社会	数学	理科	英語
0	～	2	2	0	21	1	7
3	～	4	6	5	37	6	20
5	～	6	15	7	55	22	51
7	～	8	17	23	52	42	52
9	～	10	53	34	82	88	84
11	～	12	62	74	101	89	109
13	～	14	103	108	121	125	112
15	～	16	133	140	148	180	120
17	～	18	144	159	149	150	130
19	～	20	170	171	146	178	143
21	～	22	212	186	182	187	151
23	～	24	202	204	209	182	161
25	～	26	234	210	256	221	147
27	～	28	233	226	232	213	197
29	～	30	268	229	285	211	193
31	～	32	287	225	251	231	199
33	～	34	252	223	244	219	191
35	～	36	257	198	207	240	218
37	～	38	182	218	165	211	208
39	～	40	148	183	119	136	213
41	～	42	109	138	65	114	191
43	～	44	50	103	21	66	135
45	～	46	28	66	22	42	93
47	～	48	4	32	4	17	36
49	～	50	3	11	0	1	12
受検者数			3,174	3,173	3,174	3,172	3,173

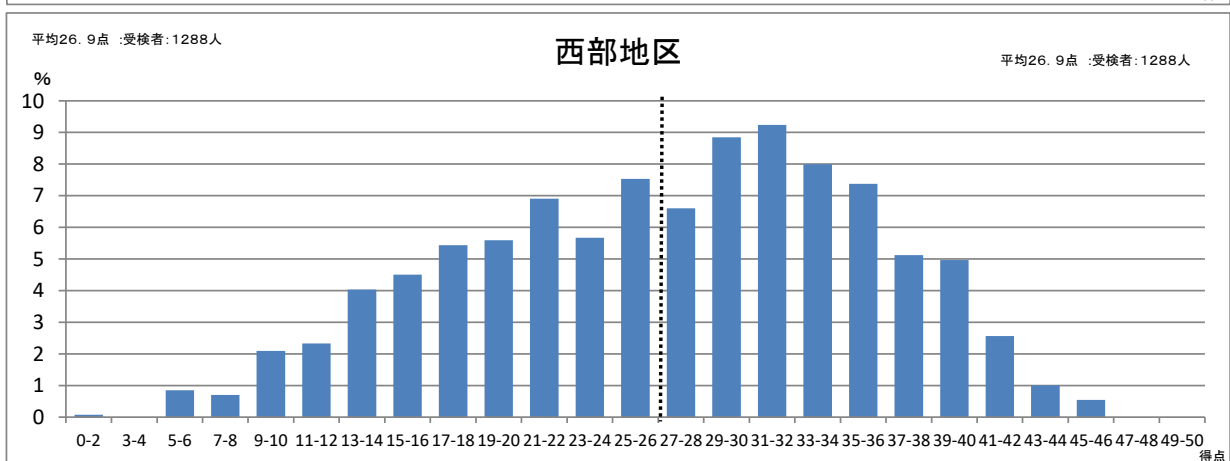
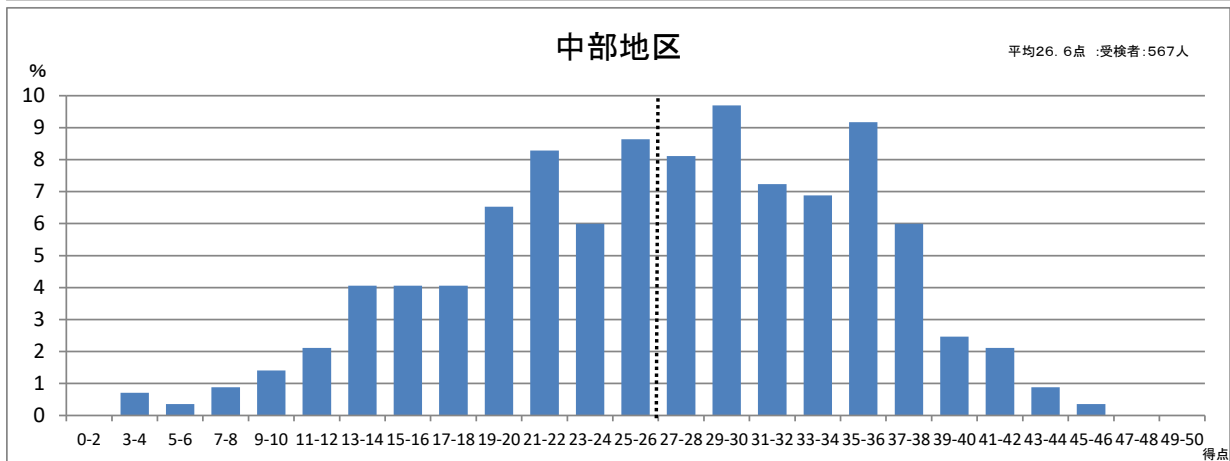
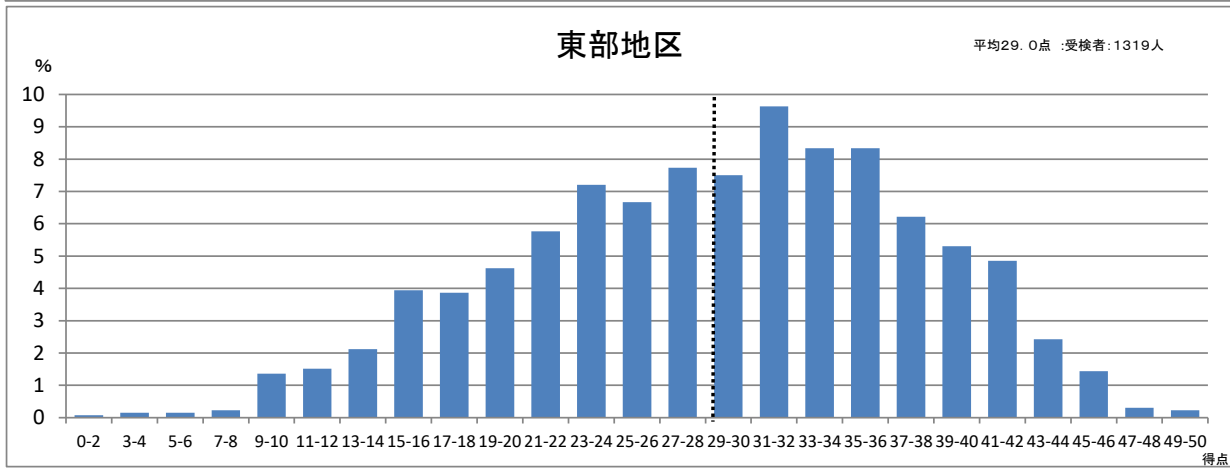
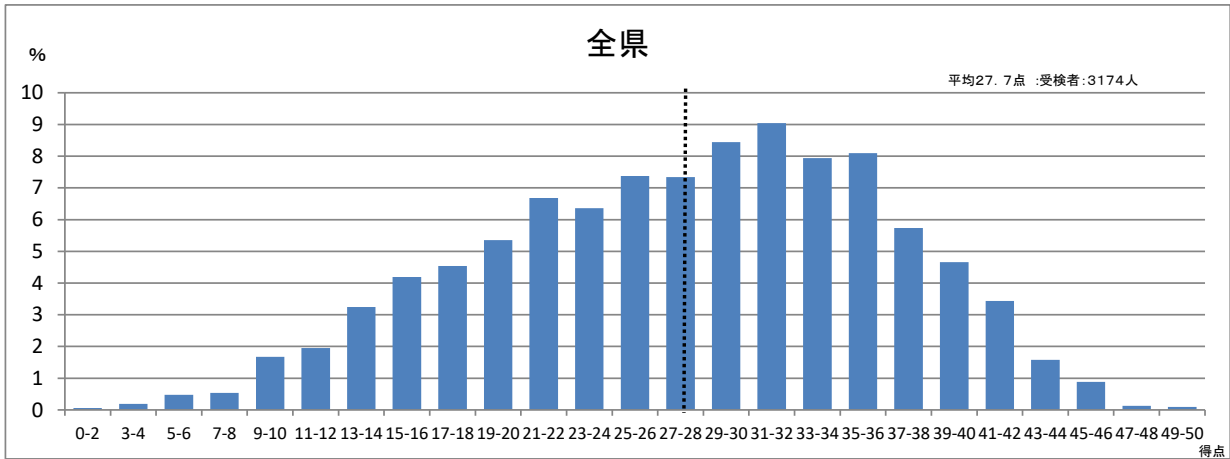
(人)

【総得点における度数分布】

総得点	人数
0	0
5	0
10	0
15	0
20	1
25	1
30	4
35	6
40	15
45	12
50	28
55	45
60	46
65	56
70	61
75	51
80	64
85	75
90	80
95	84
100	103
105	84
110	102
115	91
120	95
125	112

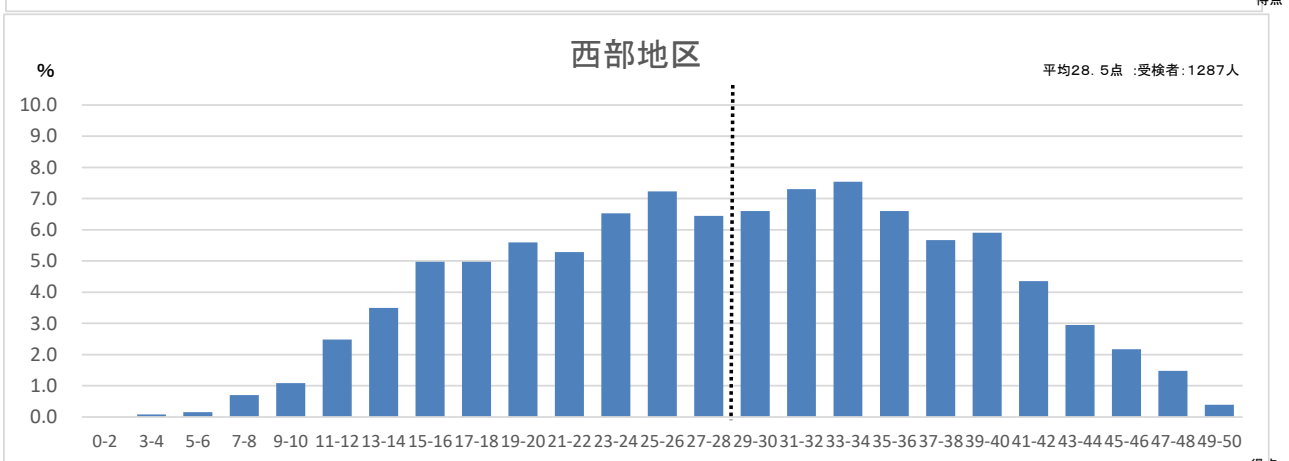
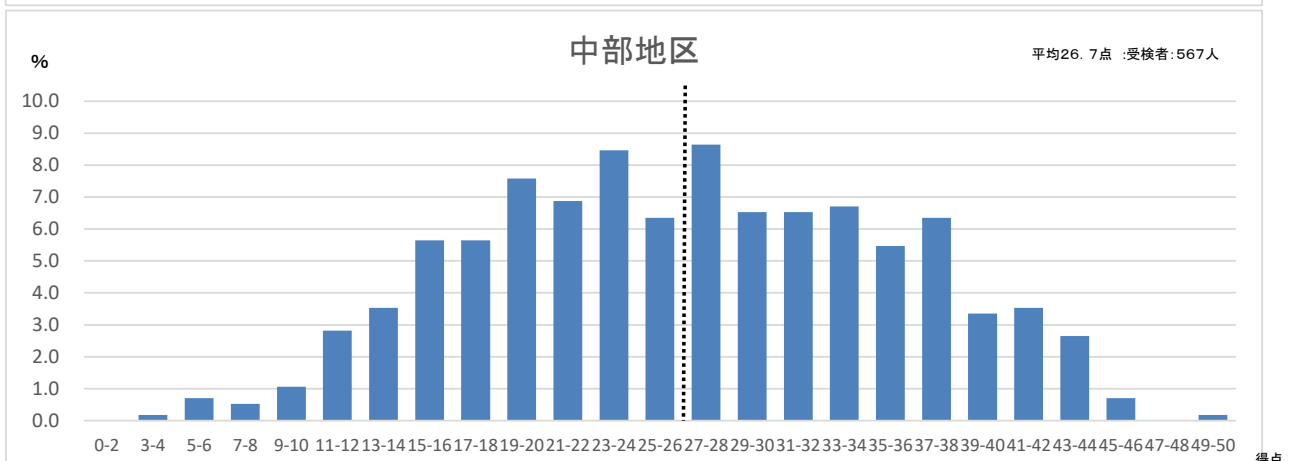
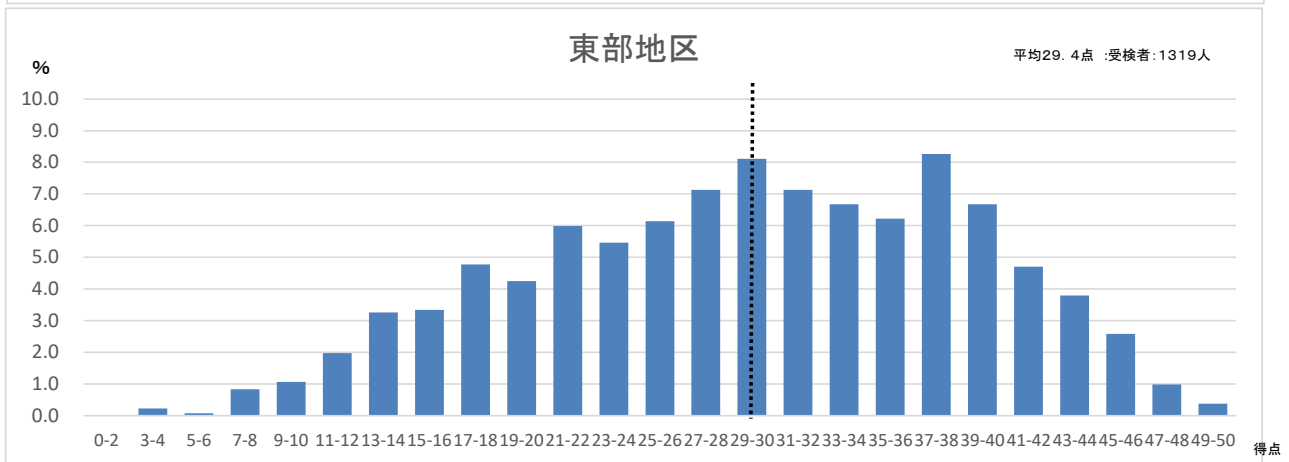
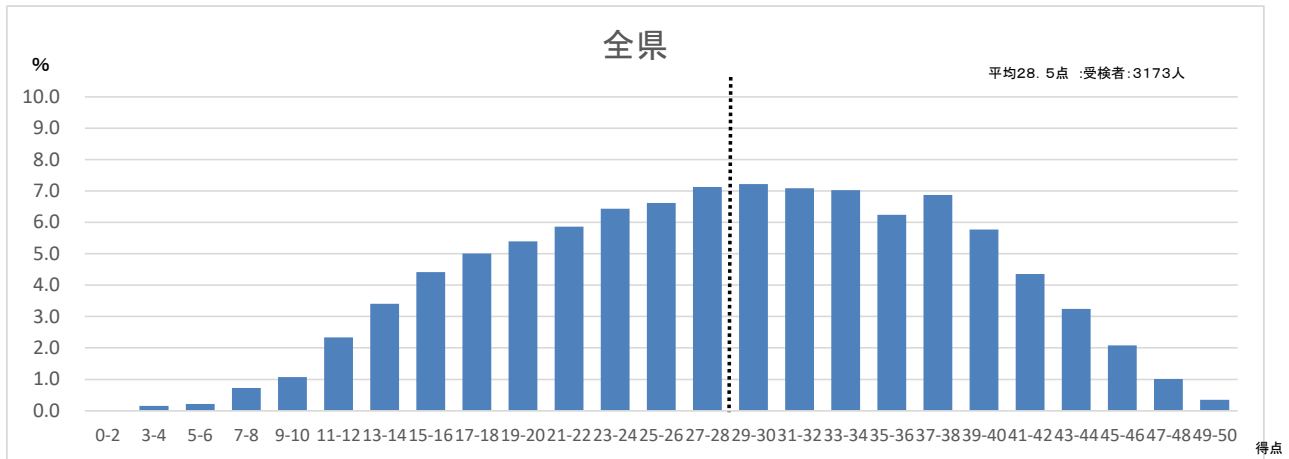
総得点	人数
126	129
130	113
135	122
140	119
145	116
150	122
155	122
160	138
165	130
170	132
175	109
180	142
185	114
190	89
195	80
200	63
205	52
210	30
215	20
220	9
225	6
230	1
235	0
240	0
245	0
250	0
受検者数	3,174

令和2年度 入学者選抜学力検査における得点状況【国語】



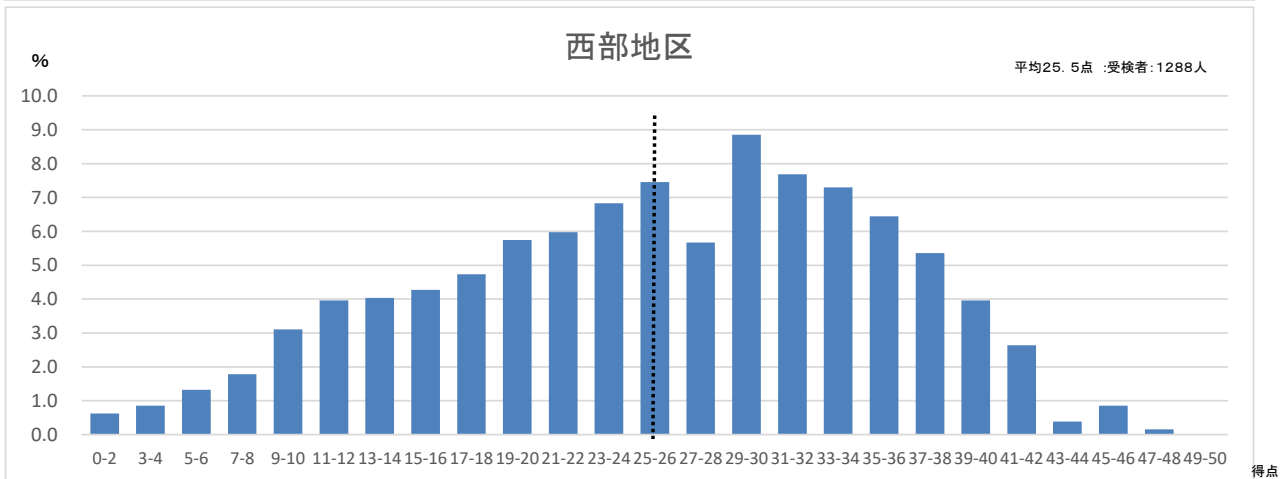
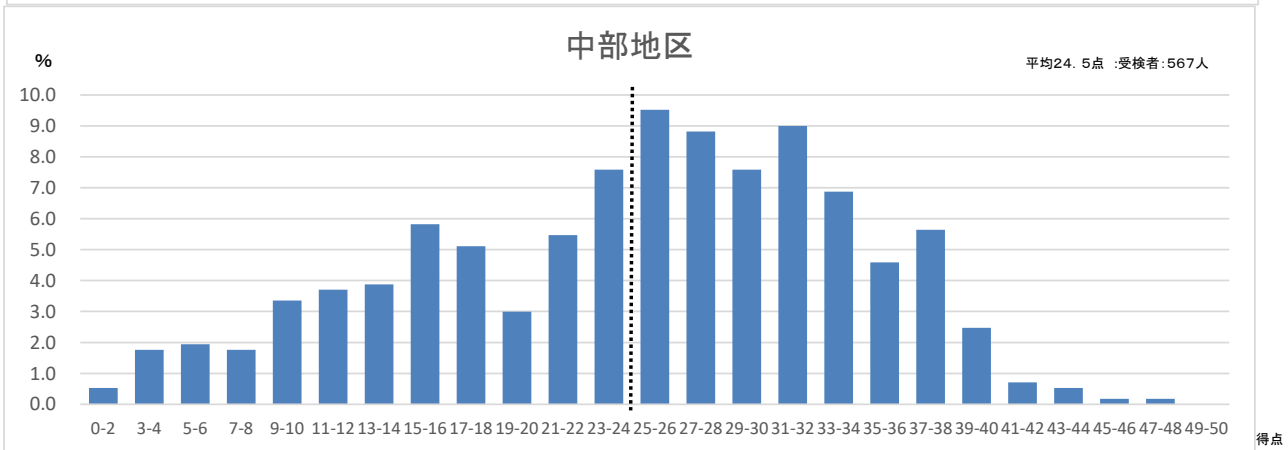
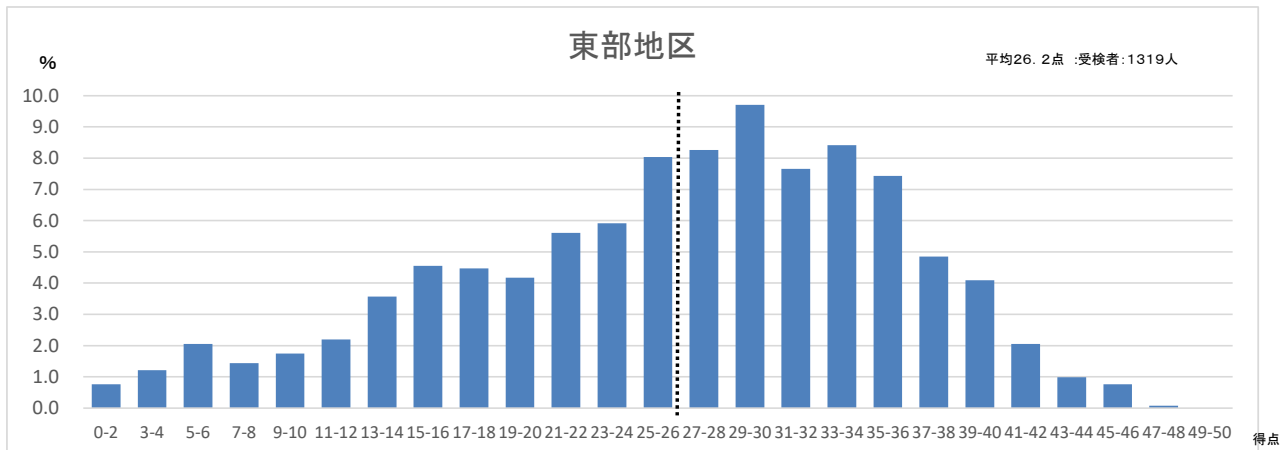
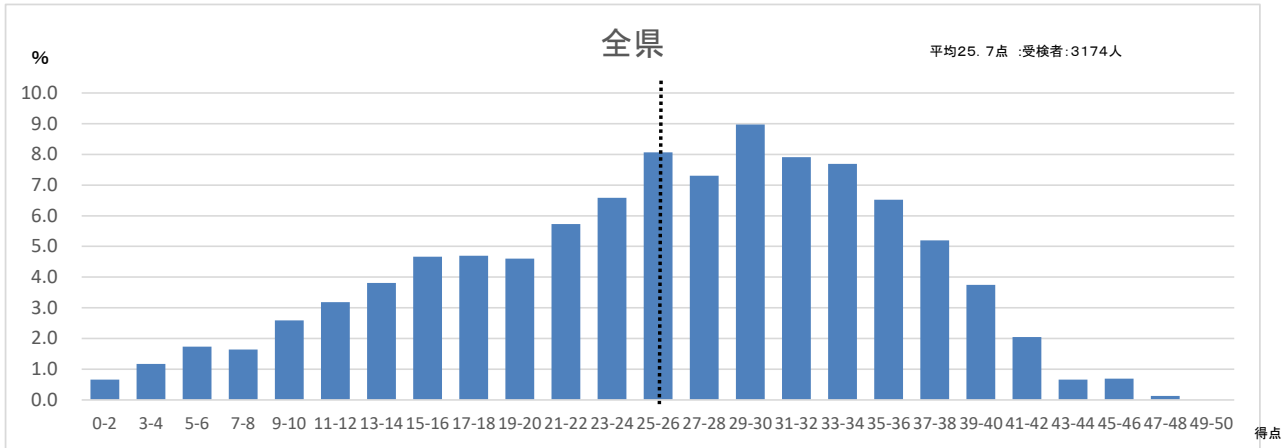
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和2年度 入学者選抜学力検査における得点状況【社会】



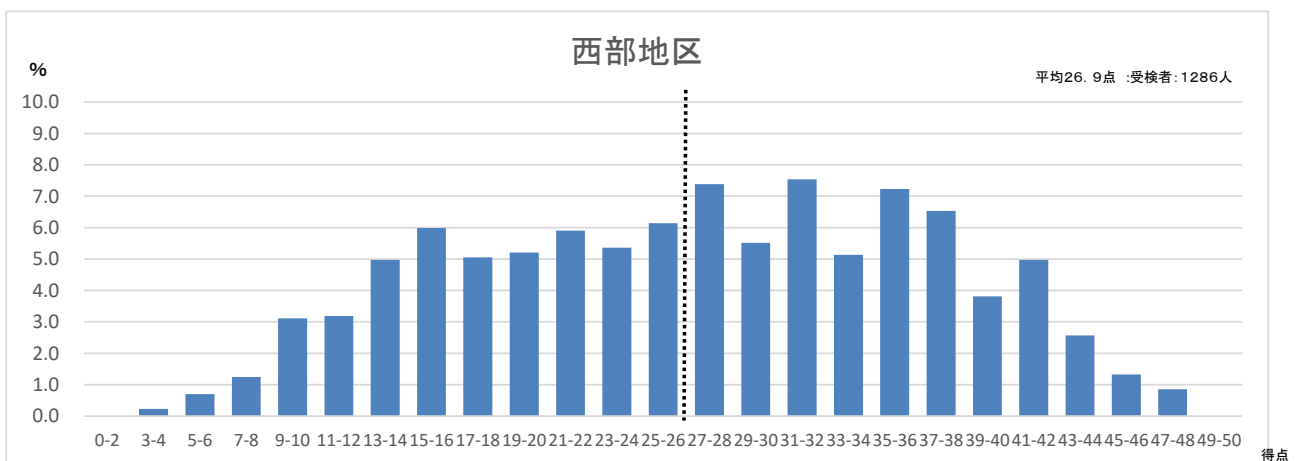
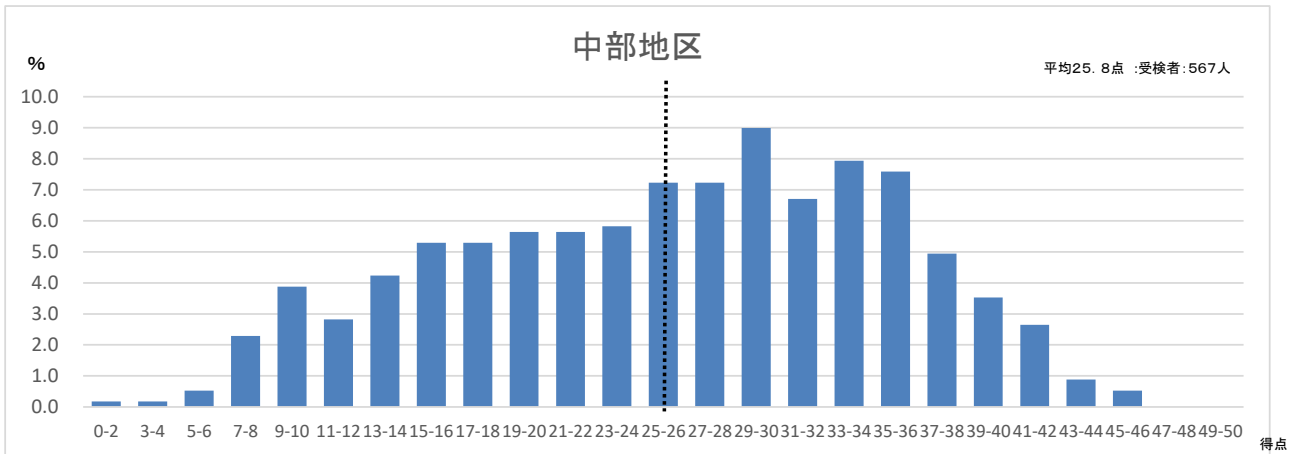
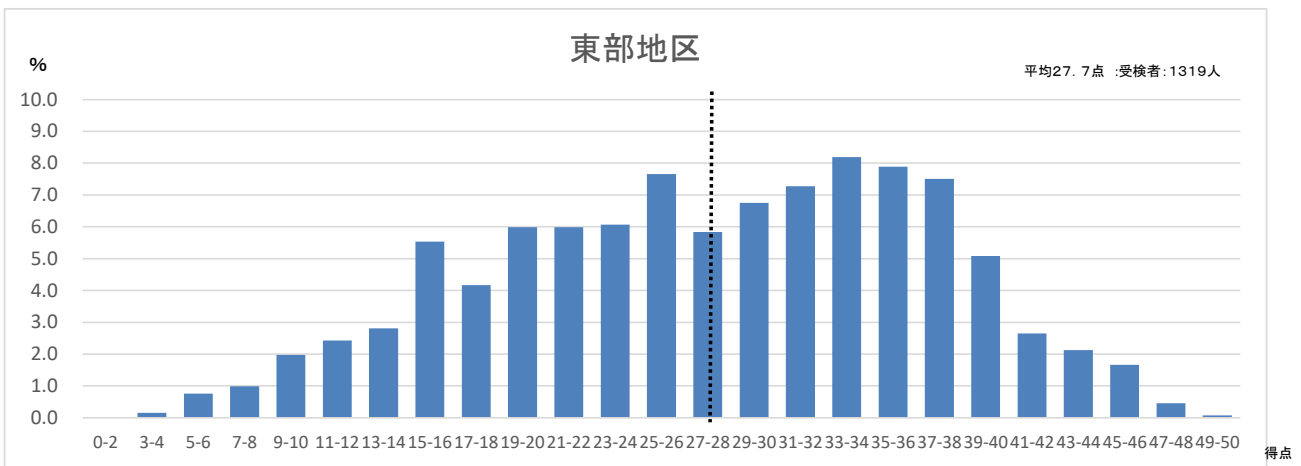
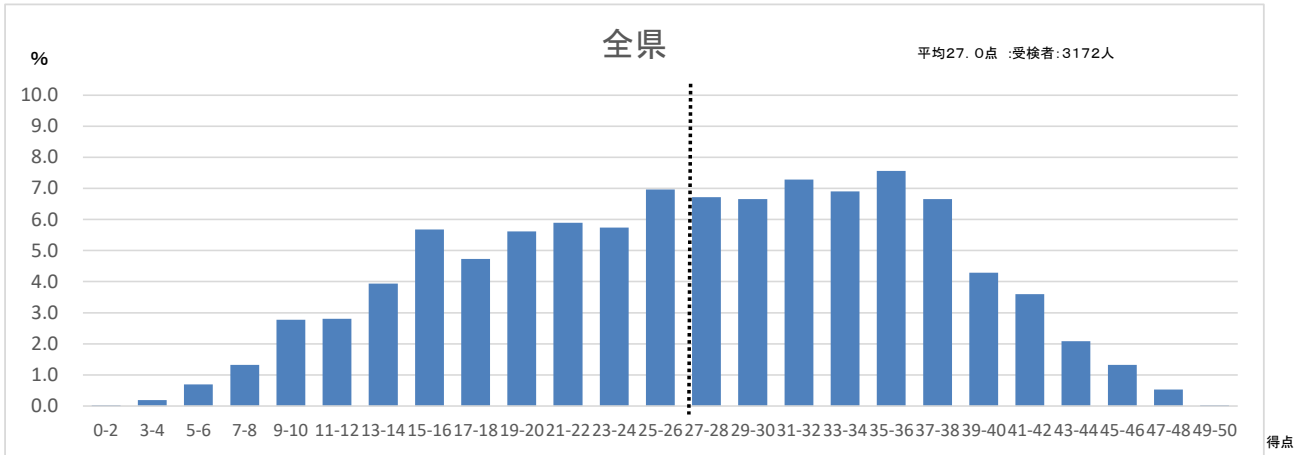
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和2年度 入学者選抜学力検査における得点状況【数学】



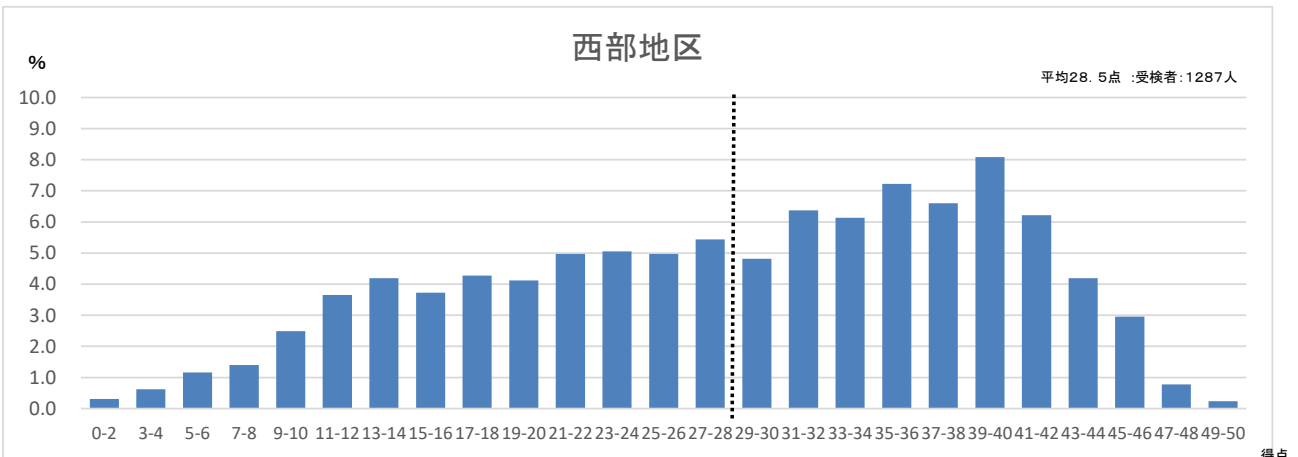
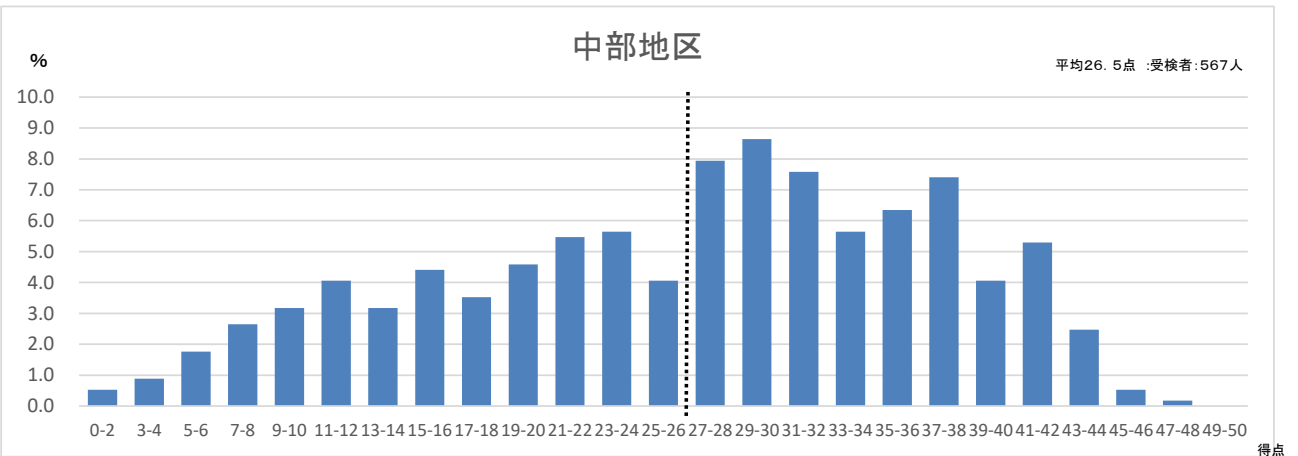
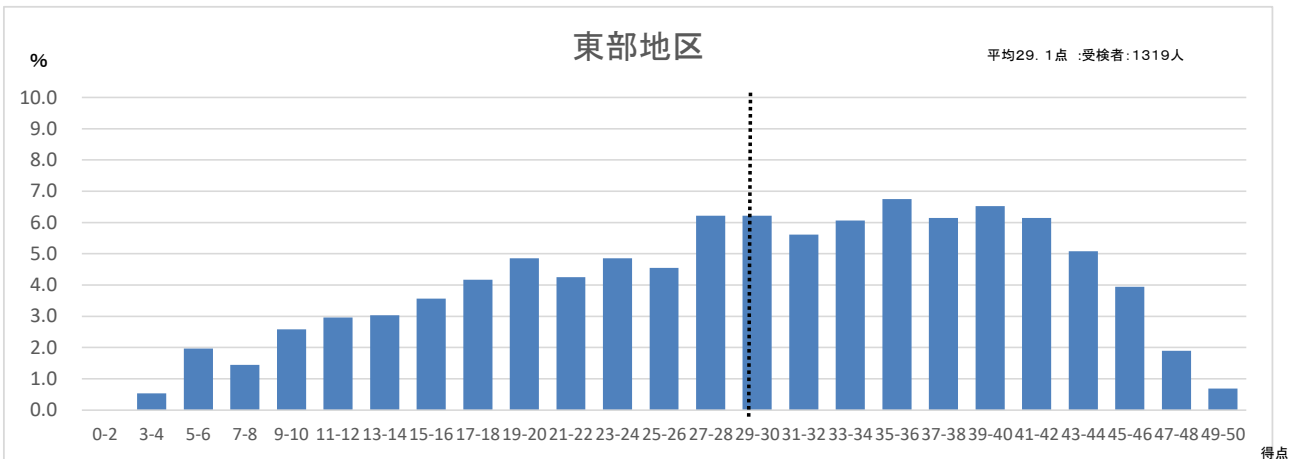
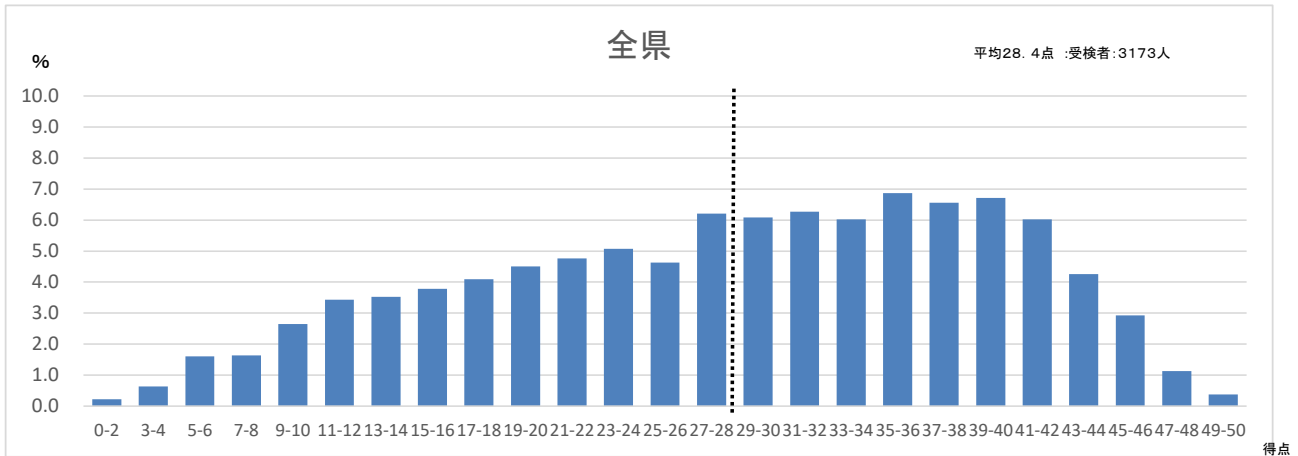
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和2年度 入学者選抜学力検査における得点状況【理科】



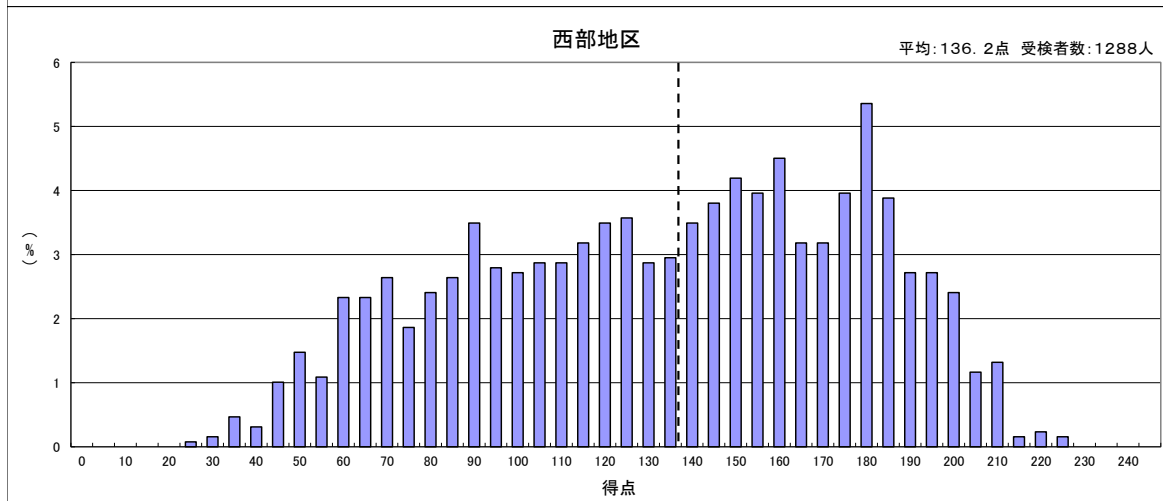
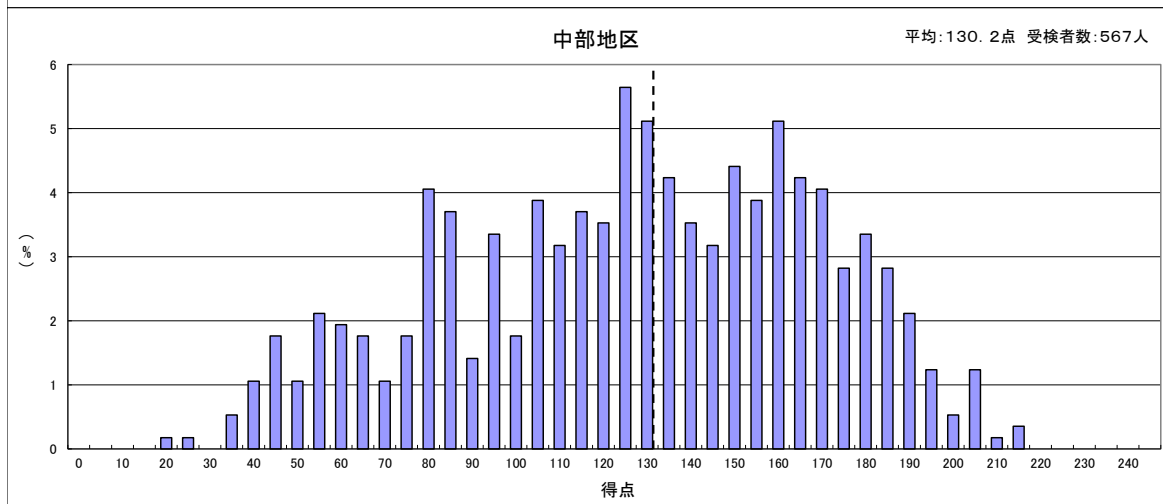
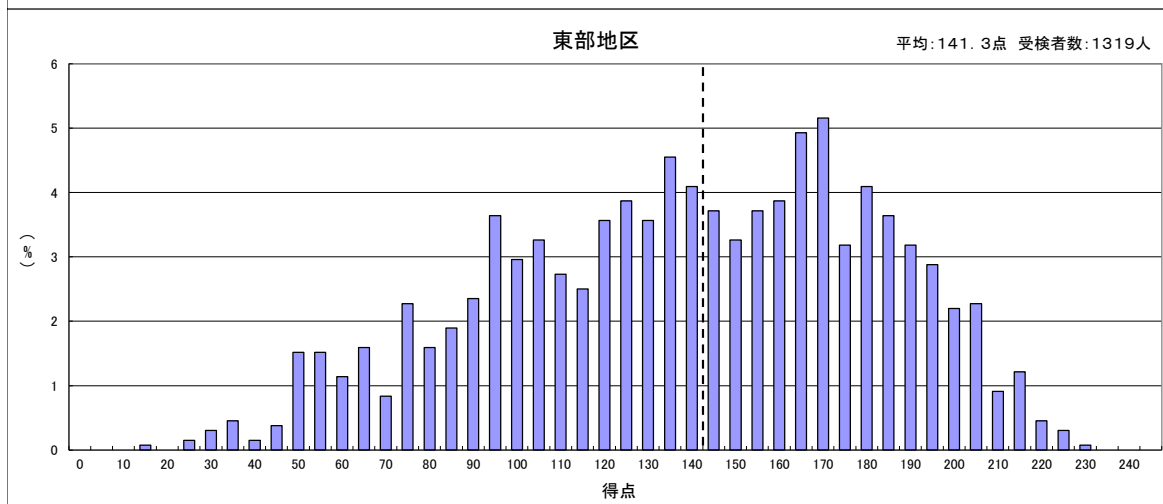
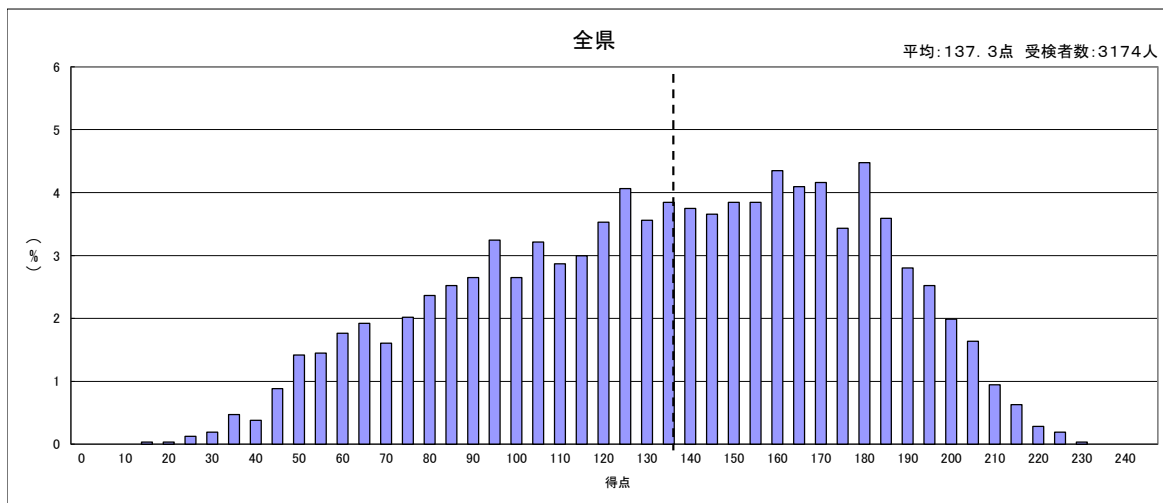
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和2年度 入学者選抜学力検査における得点状況【英語】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和2年度 入学者選抜学力検査における得点状況【総得点】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和 2 年度 鳥 取 県 立 高 等 学 校
入 学 者 選 拔 学 力 検 査 分 析

鳥 取 県 教 育 委 員 会

《 考 察 》

【 国 語 】

国語については、基礎的・基本的な言語事項を問う問題から総合的な思考力・判断力・表現力を問う問題まで幅広く出題した。言語事項を問う問題においては、漢字の読みに関する問題の正答率は高かったが、送り仮名を含めて漢字を書く問題や、書写・文法の知識を問う問題の正答率は低かった。読解や表現に関する問題においては、論理の展開や主題を的確に読み取る力や、与えられた条件に従って表現する力が不足していることがうかがえた。古文に関する問題においては、現代とは意味が異なる古語に関連した問題、文脈を理解した上で答える問題の正答率が低かった。日頃の学習において、漢字や語句、文法等の言語事項について一層の定着を図るとともに、場面や論理の展開等に注意して主題を的確に読み取る力を育成する必要がある。また、複数の資料を比較し情報を精査して、正確で説得力のある文章を書く学習活動を取り入れたい。

【 社 会 】

社会については、基礎的・基本的な知識、概念や技能を問う問題、既習の知識を活用した理解をみる問題、資料を適切に活用しながら、思考・判断・表現できているかをみる問題を出題した。様々な資料やグラフを読み取り分析する、資料活用の習得に関する内容については正答率が高かった。一方で、基礎的・基本的な知識や概念を関連付けたり、総合的に判断したりする問題の正答率が低かった。既習の知識を関連付けて考察し、表現することが課題になっていると考えられる。地理、歴史、公民のどの分野においても、日常の社会生活と関連付けながら社会的な見方・考え方を養うことが重要である。また、多面的・多角的に考察したり、選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明する力の育成を目指し、それぞれの分野を関連付けた学習や他教科とのつながりを意識した教科横断的な学習がより一層求められる。

【 数 学 】

数学については、基本的事項を問う問題を多く出題するとともに、根拠を持って数学的な表現を用いて説明する問題及び事象の本質を捉え、式やグラフなど数学的に表現する問題を出題した。基本的な計算や単純に数値を求める問題は正答率が高かった。また、三角形の合同の証明など頻出の問題については、昨年に引き続き正答率が例年より高く、学習の成果がうかがえる。しかし、必要な情報を読み取って、その情報を用いて数値を求めたり、日常生活にみられる事象を数理的に考察し、式やグラフなど数学的に表現したりする問題は、誤答率及び無答率が高かった。このことから、基礎となる事項のより一層の定着を図るとともに、与えられた情報から必要な情報を取捨選択して考察する指導や、日常生活における事象を数理的に捉え数学的に解決する指導を、さらに充実させることが重要である。

【 理 科 】

理科については、基礎的・基本的知識の理解度を問う問題から、実験・観察の結果や問題文中の条件を読み取り、それをもとに考察（計算も含む）する問題まで幅広く出題した。重要語句や基本的な知識の理解度を問う問題は正答率が高く、無答率も低かった。しかし、与えられた条件に基づいて正しい操作を考える問題や、実験操作の意味を考える問題、得られた実験結果からデータを処理して計算したり、グラフに表したりする問題では正答率が低かった。平素の授業において、自然の事物や現象の仕組みを考えたり、実験操作を行う目的を考えたりするなど、本質を深く理解させる指導の工夫が必要である。また、実験・観察で得られた結果や実験で生じた現象などを適切に表やグラフに表し、科学的に分析・考察して自らの考えを表現し、他者との対話をとおして考えを深めるような授業を実施し、科学的な思考力・判断力・表現力の育成を目指した指導の工夫が必要である。

【 英 語 】

英語については「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3つの領域を中心に、知識や技能の定着に加え、それらを活用した思考力、判断力、表現力等を測るために、実生活で見られる会話やまとまりのある文章を題材に出題した。求める情報を直接的に聞き取ったり読み取ったりする問題の正答率は高かったが、得られた情報を求められている条件にあわせて編集したり、思考・判断しながら表現したりして解答する問題での正答率は低かった。さらに、習熟度が高いと思われる基礎的な語句や表現が適切に記述できていない答案も散見された。今後は、話し手や書き手の意向を主体的に理解しようとする態度を育成しながら、得られる情報を組み合わせ考察し、適切に表現する力（発信力）を育成する指導の充実が必要である。あわせて、生徒が「見方・考え方」を働かせながら、既習の知識を活用して適切にやりとりすることができるように、目的・場面・状況が明確な言語活動を積極的に取り入れることが重要である。

《 国 語 》

【出題の基本方針】

- 1 国語の基礎的・基本的事項についての知識が身についているかをみる。
- 2 文学的な文章を読むことを通して、場面、心情、表現の特色などを的確に読み取る力や、読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 3 論理的な文章を読むことを通して、筆者のものの見方や考え方、論の展開を的確に読み取る力や読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。また、古典を読むことを通して、伝統的な言語文化に関する事項や記述された内容について理解する力をみる。加えて、自分の考えを根拠を明確にして表現する力をみる。
- 4 目的や場面に応じて話すことについて理解する力をみる。また、与えられた条件に従い、目的に応じて資料から必要な情報を読み取り、比較して、根拠を明確にして、自分の考えを文章にまとめる力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題一は、小問集合形式による出題とし、基礎的・基本的事項についての知識を問う問題構成とした。漢字の読みに関する問題の正答率は高く、中学校での学習指導の定着がうかがえた。一方、送り仮名を含めて漢字を書く問題や、書写・文法の知識を問う問題の正答率は低かった。音訓や送り仮名、部首等の漢字の基礎・基本や、主語・述語や品詞について、理解・定着させることが必要である。
- 2 問題二は、文学的文章からの出題とし、場面や心情を的確に読み取る力を問う問題構成とした。場面や状況の理解は概ねできていたが、語句の意味を文脈に即して読み取る力や、文章全体から主題を読み取り、的確に表現する力が求められる問題の正答率は低かった。場面の展開や登場人物の描写に注意して主題を読み取るとともに、それを与えられた条件に従って表現する力の育成が重要である。
- 3 問題三は、説明的文章とそれに関連する古文からの出題とし、それぞれの内容を理解する力を問うとともに、二つの文章を踏まえて自分の考えを表現する力を問う問題構成とした。
説明的文章では、論理展開についての理解を問う問題や、筆者の考えを的確に読み取る問題の正答率が低かった。日頃の学習の中で、筆者の見方や考え方、論の展開を的確に読み取る力や、読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力を育成する必要がある。
古文では、歴史的仮名遣いの問題は正答率が高かった。一方で、現代とは意味が異なる古語に関連した問題、文脈を理解した上で答える問題は正答率が低かった。
また、古典文学の意義や魅力について自分の考えを述べる問題では、古典についての様々な経験や学習の振り返りが見られた一方で、根拠が不十分な解答や、表記・表現が不正確な解答が多く見られた。日頃の学習において、伝えたいことが明確になるように構成や論理の展開を工夫したり、適切な表記・表現となるように推敲したりする学習活動を取り入れたい。また、古典をより一層親しむ学習活動を取り入れたい。
- 4 問題四は、生徒会長選挙の演説とポスターを題材として、話すことに関する知識や、与えられた条件に従って的確に表現する力を問う問題構成とした。資料から必要な情報を読み取ることにはできているが、自分の考えを条件に従って適切な文章にまとめる力が不足していることがうかがえた。日頃の学習において、複数の資料を比較し情報を精査して、正確で説得力のある文章を書く学習活動を取り入れたい。

《 社 会 》

【出題の基本方針】

- 1 世界と日本の地理的事象について、地図、グラフなどの資料をもとに、その地域的特色を考察する地理的な見方や考え方が身についているかをみる。
- 2 日本の歴史における各時代の特色や事柄を、年表や図などの資料をもとに多面的・多角的に考察し、歴史の大きな流れなどを大観して、総合的に理解しているかをみる。
- 3 日本の政治や経済、国際社会の基本的なしくみを理解し、社会的事象について今日の生活とのかかわりの中で考えて判断し、表現する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、地理的分野に関する出題とした。世界や日本の自然環境や生活に関する問題、各都道府県の産業の特徴等、基礎的・基本的な知識、概念を問う問題の正答率が高かった。また、問3(6)《防災》に関する説明問題の正答率は8割を超え、大規模な自然災害が相次ぐ現況において、防災に対する学習が充実していることが感じられる。一方、問3(3)《近畿地方の府県の特徴》のように、統計資料を正確に読みとり、各府県の特徴と照合して正解を導き出すような形式の問題の正答率は伸びなかった。また、問3(7)《地形図》では、日常の生活体験を踏まえ、縮尺、方位方角、地図記号など基本的な知識を活用する総合的な問題であったが、正答率は伸びなかった。今後も、現在の社会動向にも関心を持たせながら、単に地域的特色を理解するだけでなく、事象間の関連を考察しながら学習した地域的特色を総合的にとらえる力や、様々な資料を適切に選択・活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し表現する力を身に付けさせることが重要となる。
- 2 問題2は、歴史的分野に関する出題とし、問1は古代から近世、問2は近世から現代までの歴史を出題した。問1(2)《弥生時代の建物》、問2(1)《日本の内閣制度》などの正答率が高く、小学校での学習も含め、各時代における基礎的・基本的な知識は身に付いている。一方、問1(3)《奈良時代の特色》、問1(4)《室町時代の人物》の正答率が伸びず、略年表から時代を正しく読みとることに課題が見られる。また、問1(6)、問2(6)の並べ替え問題の正答率が伸びなかった。これらの要因として、問1(1)《西暦と世紀》の正答率が6割に留まっていることから、世紀、西暦、時代区分等、歴史的事象について時代の流れをとらえる土台となる知識の定着に課題があることが考えられる。加えて、問2(4)～(6)の正答率が極めて低く、現代史の学習の定着に大きな課題が見られる。我が国の歴史の大きな流れを理解させる学習を重視するとともに、近現代史の学習を一層充実させ、日常の社会生活と関連付けながら社会的事象の歴史的な見方・考え方を養うことが重要である。
- 3 問題3は、公民的分野に関する出題とした。問1(3)《日本の四大公害》や問1(4)《新しい人権》、問1(5)《憲法改正の手続き》の正答率は7割を超え、人権や政治など現代社会の課題に対応した学習の充実が感じられる。また、問2(1)《日本の発電の推移》の正答率は9割を超え、様々な資料やグラフから事実を正確にとらえ、適切に表現する力は身に付いている。一方、問2(3)《為替相場》、問2(4)《輸出と輸入》、問3(2)《6次産業化》の正答率が3～4割と低く、経済分野に関する基礎的・基本的な知識の定着に、引き続いて課題が見られた。今後は、経済分野についての関心を高め、現代社会の見方・考え方の基礎を育成するとともに、社会の形成に参画する態度を養うことが重要となる。公民的分野に関する知識を習得するだけでなく、様々な資料を適切に収集した上で多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に選択・判断する力を養うことが大切である。
- 4 「事象間の関連を考察しながら、既習事項を総合的にとらえる」問題や「様々な資料から考察に必要な情報を読み取り、分析する」問題を出題した。総合的にみると、三分野とも様々な資料やグラフを読み取り分析する資料活用の習得が図られていると思われる。一方で、基礎的・基本的な知識や概念を関連付けたり、総合的に判断したりする力について課題が見られた。今後も、社会の出来事や動向と関連させながら、「公民的資質の基礎」を養うために、小学校からの学びを踏まえた学習の充実を図ることはもちろんのこと、他教科で身に付けた能力も積極的に活用しながら授業づくりをすることが求められる。

《 数 学 》

【出題の基本方針】

- 1 各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項に関する理解をみるとともに、計算する力・表現する力が身につけているかをみる。
- 2 基本的な概念や原理・法則を生かして、見通しをもって問題を分析し、処理する力をみる。
- 3 数学的な見方や考え方を活用して、対象を論理的に考察し、課題を解決する力をみる。
- 4 日常生活における題材について、数理的に考察し、処理する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、小問集合とし、各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項の理解度及び計算力・表現力を問う問題を出題した。問6までは概ね正答率が高く良好な結果であった。全国学力・学習状況調査において課題がみられた「根拠を持って数学的な表現を用いて説明する力を問う問題」について、三角形の合同を証明する問題では、昨年度に引き続き正答率が例年より高く良好な結果であった。また、代表値を使って説明する問題では、無回答率が低く、記述による説明問題としては正答率が高い良好な結果であった。
- 2 問題2は、事象を考察し、根拠に基づく判断により課題を解決する力を問う問題とした。会話にあてはまる場合の確率を求める問題の正答率が低く、会話や問題文等から判断して考察する力の育成が重要である。
- 3 問題3は、身近な場面をとりあげ、式を用いて数理的に考察し、課題を解決する力を問う問題とした。速さと時間から道のりを求める基本的な問題の正答率が低く、課題が見られた。また、事象を考察して方程式を立てる問題の正答率が低く、与えられた様々な複数の情報から数式を立てる力の育成が引き続き重要である。
- 4 問題4は、身近な場面をとりあげ、関数を用いて数理的に考察し、課題を解決する力を問う問題とした。必要な情報を読み取り、それを基に料金を求めたり、グラフに表したりする問題の正答率が低く、日常生活に見られる事象を数理的に考察し、処理する力の育成が引き続き重要である。
- 5 問題5は、図形を題材とし、数学的な見方や考え方を活用して平面図形・空間図形を認識し、課題を解決する力を問う問題とした。図形領域は全国学力・学習状況調査においても課題が見られた領域であり、全体的に課題が見られる結果であった。特に、三角形の相似や三平方の定理を使って辺の長さを求める問題は、正答率が低く、図形の様々な性質を使って問題解決する力の育成が引き続き重要である。

《 理 科 》

【出題の基本方針】

- 1 自然の事物や現象について、基礎的・基本的事項を理解し、知識が身についているかをみる。
- 2 自然の事物や現象の中に規則性・法則性を見いだすなど、科学的な見方や考え方が身についているかをみる。
- 3 観察・実験で得た結果を処理し、総合的に考察して、自らの考えを表現する力をみる。
- 4 身近な自然の事物や現象に興味・関心をもち、科学的に探究する態度が育っているかをみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、生物分野に関する出題とした。花のつくりと栄養分が運ばれる仕組みについて、科学的な見方や考え方が身についているかをみる問題である。重要語句を問う問題では正答率が高く、基本的事項の定着が見られた。問2(2)のデンプンが体全体に運ばれる仕組みを問う問題では正答率が39.1%と低かった。基本的な語句だけでなくその仕組みについて理解させる指導の工夫が必要である。
- 2 問題2は、化学分野に関する出題とした。プラスチックの種類を区別するための実験を通して、科学的な見方や考え方が身についているかをみる問題である。問3のプラスチックを区別する方法についての問では、正答率が70.7%と高かった。密度の違いから物質を分類する基本的な知識は定着していた。環境問題への興味・関心を問う問4、問5では、正答率が47.8%、31.0%と低かった。学んだことと日常や社会との関連を図り、身近な事物や現象に興味・関心を持たせる指導の工夫が必要である。
- 3 問題3は、地学分野に関する出題とした。地震に関する基礎的・基本的な知識の定着と、地震計の記録を読み取って、地震が発生した時刻や地震が伝わる速さについて、正しく計算する力をみる問題である。基本的な知識を問う問題では正答率が高かった。しかし、問4(2)の緊急地震速報が発表されてから10秒後にS波が到着する地点を計算する問では、正答率が13.0%と低かった。図や表から必要な情報を読み取り、規則性や法則性を見いだして考察する力を育成する指導の工夫が必要である。
- 4 問題4は、物理分野に関する出題とした。電流と磁界の関係を調べる実験を通して、科学的な見方や考え方が身についているかをみる問題である。問3の検流計の指針を大きく左に振れるようにするための方法を問う問題では、正答率が27.2%と低く、条件に合わない記述も多かった。条件を正しく読み取り、科学的な見方・考え方はたらかせて、実験方法を考えるような指導の工夫が必要である。
- 5 問題5は、化学分野に関する出題とした。銅の酸化及び酸化銅の還元についての実験を通して、科学的な見方や考え方が身についているかをみる問題である。問3(1)の目玉クリップでゴム管を閉じた理由を問う問題では、正答率が30.4%、問3(3)の酸化銅と活性炭の反応から試験管Iに残った物質の質量を計算する問題では、正答率が5.4%と低かった。実験をする上で、その操作を行う理由を理解させるとともに、複数の実験結果から科学的に考察する力を育成する指導の工夫が必要である。
- 6 問題6は、生物分野に関する出題とした。ヒメダカの行動について調べる実験を通して、基礎的・基本的な知識の定着と、実験結果から規則性・法則性を見いだす力をみる問題である。問4の分解者とよばれる生物を問う問題では、正答率が83.7%と高く、生態系についての基本的な知識の定着が見られた。
- 7 問題7は、物理分野に関する出題とした。斜面を上り下りする力学台車の運動を調べる実験を通して、力学台車に働く力と運動の関係について、科学的な見方や考え方が身についているかを見る問題である。問2の時間と力学台車の速さの関係をグラフに表す問題では、正答率が4.3%と低かった。得られたデータを正しく処理し、その結果を正しくグラフに表すことができるような指導の工夫が必要である。
- 8 問8は、地学分野に関する出題とした。月と金星の観測を通して、身近な自然への興味関心をみる問題である。問5の金星は真夜中に観測することができない理由について問う問題では、正答率が60.9%と比較的高く、自らの考えを表現する力が身につけてきていることがうかがえた。引き続き、身近な自然に興味・関心を持たせ、自ら探究する態度を育成する指導の工夫が必要である。

《 英 語 》

【出題の基本方針】

- 1 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の各領域にわたる基礎的、基本的知識と、それを活用する力が身につけているかをみる。
- 2 日常生活の身近な事柄などについて、短い英語やまとまりのある英語を聞いて、情報を正確に聞き取ったり、話し手の意向などを理解したりする力をみる。
- 3 日常生活の身近な事柄などについて、初歩的な英語を用いて、自分の経験や考えなどを表現する力をみる。
- 4 まとまりのある英文を読んで、本文や会話の流れを理解したり、重要な情報を正確に読み取ったりする力をみる。
- 5 物語文やスピーチ原稿を読んで、本文の展開や、登場人物の考えや気持ちなどを正確に読み取る力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1の「聞くこと」に関する問題では、求められる情報を直接的に聞き取る問題とまとまった英文を聞き取って概要を把握する問題の正答率は高かったが、聞き取った情報をもとに条件に合わせて英文を記述する問題の正答率は低かった。普段の授業において、話し手の意向を主体的に理解しようとする態度を育成するとともに、聞き取った情報をもとに思考・判断しながらやりとりしたり、書いたりするといった言語活動の充実が必要である。
- 2 問題2の基礎的な会話表現や語彙及び文法運用に関する問題では、基礎的な語句や表現の定着度は概ね良好であるが、身につけている語彙や文法の知識を場面や状況に応じて適切に運用することに課題がみられた。基本的な会話表現、語彙及び文法事項については、身近な場面設定による授業中の言語活動を通して、それらを4技能全ての領域において活用できる力をつけておくことが必要である。
- 3 問題3は、場面や話者の意図に応じた表現の運用力と、読み取った英文の内容をふまえて自分の意見や考えを理由とともに英語で述べる表現力（テーマ作文）をみた。誤答・無回答率は昨年よりも増加しており、英文の内容と問いかけを的確にとらえ、問われている内容に対して自分の意見や考えを適切に英語で表現する力に課題がみられた。普段の授業において、目的・場面・状況を意識した技能統合型の言語活動を設定し、話の内容や書き手の意見などを主体的にとらえ、既習の知識を活用して自分の意見や考えを読み手に正しく伝わるように発信する力を育成することが必要である。
- 4 問題4の「読むこと」に関する問題では、SDGsを題材に、中学生とALTとの会話と発表（グラフを含む）をもとにした読解問題を出題し、述べてある事柄や情報を正確に読み取る力をみた。事実に関する内容理解の設問では高い正答率であったが、英文の内容とグラフから得られる情報をもとに書き手が最も伝えたいことを判断する問題では課題が見られた。普段の授業において、英文と図やグラフなど複数の情報から書き手の意向を正確に理解し、根拠を明らかにしながらやりとりしたり自分の意見を書いたりするなど、情報を適切に活用することをふまえた言語活動の充実が求められる。
- 5 問題5の「読むこと」に関する問題では、中国で砂漠の緑化活動に貢献した遠山正瑛氏について書かれた英文を題材に、本文の展開や登場人物の心情を、主体的な読解をとおして理解する力をみた。段落および文章全体の主旨をふまえて、求められる条件に沿って、語や文章で適切に表現する力などに課題がみられた。授業において、書き手の意向を主体的に理解しようとする態度を育成しながら、述べられている事柄を読み取って的確に理解する力とともに、読んで理解したことをもとに自分の考えを適切に表現する力の育成が必要である。

令和2年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【国語】(答案数:184)

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題一	問一	(1) 漢字の読み	記述	165	89.7%	0	0.0%	19	10.3%	0	0.0%
		(2) 漢字の読み	記述	145	78.8%	0	0.0%	28	15.2%	11	6.0%
		(3) 漢字の書き	記述	118	64.1%	0	0.0%	31	16.8%	35	19.0%
		(4) 漢字の書き	記述	149	81.0%	0	0.0%	29	15.8%	6	3.3%
	問二	書写の知識	記号	97	52.7%	0	0.0%	87	47.3%	0	0.0%
	問三	語句の知識	記号	130	70.7%	0	0.0%	53	28.8%	1	0.5%
	問四	語句の知識	記述	105	57.1%	0	0.0%	78	42.4%	1	0.5%
	問五	(1) 文法の知識	記述	62	33.7%	0	0.0%	121	65.8%	1	0.5%
		(2) 文法の知識	記号	50	27.2%	0	0.0%	133	72.3%	1	0.5%
問六	漢文の知識	記号	144	78.3%	0	0.0%	40	21.7%	0	0.0%	
問題二	問一	(1) 内容の理解	記号	156	84.8%	0	0.0%	27	14.7%	1	0.5%
		(2) 文脈の理解	記述	56	30.4%	2	1.1%	117	63.6%	9	4.9%
	問二	語句の知識	記号	100	54.3%	0	0.0%	83	45.1%	1	0.5%
	問三	内容の理解	記号	152	82.6%	0	0.0%	31	16.8%	1	0.5%
	問四	内容の理解	記述	4	2.2%	6	3.3%	144	78.3%	30	16.3%
問五	内容の理解	記号	137	74.5%	0	0.0%	46	25.0%	1	0.5%	
問題三	問一	文脈の理解	記号	162	88.0%	0	0.0%	22	12.0%	0	0.0%
	問二	文脈の理解	記号	103	56.0%	0	0.0%	81	44.0%	0	0.0%
	問三	文脈の理解	記号	94	51.1%	0	0.0%	89	48.4%	1	0.5%
	問四	内容の理解	記述	43	23.4%	44	23.9%	52	28.3%	45	24.5%
	問五	内容の理解	記号	69	37.5%	0	0.0%	115	62.5%	0	0.0%
	問六	語句の知識	記号	146	79.3%	0	0.0%	38	20.7%	0	0.0%
	問七	文脈の理解	記号	113	61.4%	0	0.0%	70	38.0%	1	0.5%
	問八	(1) 歴史的仮名遣い	記述	178	96.7%	0	0.0%	5	2.7%	1	0.5%
		(2) 内容の理解	記号	63	34.2%	0	0.0%	117	63.6%	4	2.2%
問九	目的に応じた表現	記述	32	17.4%	84	45.7%	36	19.6%	32	17.4%	
問題四	問一	適切な表現	記述	65	35.3%	35	19.0%	79	42.9%	5	2.7%
	問二	敬語の知識	記述	115	62.5%	0	0.0%	62	33.7%	7	3.8%
	問三	適切な表現	記号	75	40.8%	0	0.0%	104	56.5%	5	2.7%
	問四	適切な表現	記号	140	76.1%	0	0.0%	38	20.7%	6	3.3%
	問五	目的に応じた表現	記述	23	12.5%	119	64.7%	31	16.8%	11	6.0%

令和2年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【社会】(答案数:184)

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	1 地図上の距離	記号選択	152	82.6%	0	0.0%	32	16.2%	0	0.0%
		2 世界の宗教	語句記述	70	38.0%	0	0.0%	114	57.9%	0	0.0%
		3 世界各地の自然環境と家屋	記号選択	155	84.2%	0	0.0%	29	14.7%	0	0.0%
		4 東・東南アジアの気候(季節風)	記号選択	119	64.7%	0	0.0%	65	33.0%	0	0.0%
	問2	1 国土面積と領海、排他的経済水域	記号選択	119	64.7%	0	0.0%	65	33.0%	0	0.0%
		2 ヨーロッパの農業	記号選択	83	45.1%	0	0.0%	101	51.3%	0	0.0%
	問3	1 各地方の気候(雨温図)	記号選択	108	58.7%	0	0.0%	76	38.6%	0	0.0%
		2 各地方の自然環境	記号選択	105	57.1%	0	0.0%	79	40.1%	0	0.0%
		3 近畿地方の府県の特徴	記号選択	85	46.2%	0	0.0%	99	50.3%	0	0.0%
		4 都道府県の特徴	記号選択	122	66.3%	0	0.0%	62	31.5%	0	0.0%
		5 日本の工業生産	記号選択	130	70.7%	0	0.0%	54	27.4%	0	0.0%
		6 防災	説明	159	86.4%	7	3.6%	14	7.1%	4	2.0%
		7 地形図	記号選択	113	61.4%	0	0.0%	71	36.0%	0	0.0%
	地理的分野			1520	63.5%	7	0.3%		33.6%	4	0.2%
問題2	問1	1A 西暦と世紀	語句記述	120	65.2%	0	0.0%	60	30.5%	4	2.0%
		1B 西暦と世紀	語句記述	117	63.6%	0	0.0%	62	31.5%	5	2.5%
		2 弥生時代の建物	記号選択	170	92.4%	0	0.0%	13	6.6%	1	0.5%
		3 奈良時代の特色	記号選択	82	44.6%	0	0.0%	101	51.3%	1	0.5%
		4 室町時代の人物(記号)	記号選択	105	57.1%	0	0.0%	74	37.6%	5	2.5%
			室町時代の人物(名前)	語句記述	92	50.0%	0	0.0%	80	40.6%	12
	5 江戸時代の交通整備	記号選択	109	59.2%	0	0.0%	73	37.1%	2	1.0%	
	6 幕末の外国との関係	並べ替え	36	19.6%	0	0.0%	147	74.6%	1	0.5%	
	問2	1 日本の内閣制度	記号選択	137	74.5%	0	0.0%	37	18.8%	10	5.1%
		2 不平等条約の改正	記号選択	103	56.0%	0	0.0%	79	40.1%	2	1.0%
		3 政党政治	記号選択	110	59.8%	0	0.0%	61	31.0%	13	6.6%
		4 戦後の農地改革	説明	29	15.8%	12	6.1%	122	61.9%	21	10.7%
		5 高度経済成長期の社会	記号選択	62	33.7%	0	0.0%	120	60.9%	2	1.0%
		6 現代の社会	並べ替え	16	8.7%	0	0.0%	167	84.8%	1	0.5%
歴史的分野			1288	50.0%	12	0.4%	1196	43.4%	80	2.9%	
問題3	問1	1 国際連合	語句記述	42	22.8%	0	0.0%	103	52.3%	39	19.8%
		2 国際分業	語句記述	88	47.8%	0	0.0%	67	34.0%	29	14.7%
		3 日本の四大公害	記号選択	131	71.2%	0	0.0%	51	25.9%	2	1.0%
		4 I 被疑者や被告人の権利	記号選択	89	48.4%	0	0.0%	93	47.2%	2	1.0%
		4 II 新しい人権	記号選択	147	79.9%	0	0.0%	35	17.8%	2	1.0%
		5 III 国会のしくみ	語句記述	108	58.7%	0	0.0%	65	33.0%	11	5.6%
		5 IV 憲法改正の手続き	語句記述	131	71.2%	0	0.0%	46	23.4%	7	3.6%
	問2	1 日本の発電の推移	記号選択	168	91.3%	0	0.0%	13	6.6%	3	1.5%
		2 効率と公正	記号選択	152	82.6%	0	0.0%	29	14.7%	3	1.5%
		3 為替相場	記号選択	70	38.0%	0	0.0%	111	56.3%	3	1.5%
		4 輸出と輸入	記号選択	57	31.0%	0	0.0%	123	62.4%	4	2.0%
	問3	1 技術革新	記号選択	148	80.4%	0	0.0%	31	15.7%	5	2.5%
		2 6次産業化	説明	82	44.6%	18	9.1%	69	35.0%	15	7.6%
	市民的分野			1413	59.1%	18	0.7%	836	32.6%	125	4.9%
合計			4221	57.4%	37	0.5%	2893	36.7%	209	2.7%	

令和2年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【数学】（答案数：184）

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	(1) 正の数・負の数の計算	計算	175	95.1%	0	0.0%	9	4.9%	0	0.0%
		(2) 分数の計算（異符号の商）	計算	173	94.0%	0	0.0%	11	6.0%	0	0.0%
		(3) 平方根を含む式の計算	計算	167	90.8%	0	0.0%	13	7.1%	4	2.2%
		(4) 多項式の計算（差）	計算	160	87.0%	0	0.0%	23	12.5%	1	0.5%
		(5) 単項式の計算（乗・除）	計算	162	88.0%	0	0.0%	18	9.8%	4	2.2%
	問2	多項式の計算（乗法）	計算	136	73.9%	0	0.0%	44	23.9%	4	2.2%
	問3	式の値	計算	135	73.4%	0	0.0%	45	24.5%	4	2.2%
	問4	因数分解	計算	154	83.7%	0	0.0%	22	12.0%	8	4.3%
	問5	式 反比例の式	計算	126	68.5%	0	0.0%	48	26.1%	10	5.4%
		ア 反比例の y の値	計算	142	77.2%	0	0.0%	35	19.0%	7	3.8%
	問6	二次方程式の解の公式	計算	139	75.5%	0	0.0%	33	17.9%	12	6.5%
	問7	円錐の側面積	計算	64	34.8%	0	0.0%	101	54.9%	19	10.3%
	問8	標本調査	計算	122	66.3%	0	0.0%	45	24.5%	17	9.2%
	問9	作図（3点を通る円の中心）	作図	106	57.6%	5	2.7%	31	16.8%	42	22.8%
問10	証明の進め方	記述	80	43.5%	37	20.1%	36	19.6%	31	16.8%	
問11	代表値を使った説明	記述	103	56.0%	45	24.5%	22	12.0%	14	7.6%	
問題2	問1	確率の計算	計算	108	58.7%	40	21.7%	33	17.9%	3	1.6%
	問2	確率を使った説明	記述	78	42.4%	13	7.1%	62	33.7%	31	16.8%
	問3	確率の計算・関数 $y=ax^2$	計算	40	21.7%	0	0.0%	85	46.2%	59	32.1%
問題3	問1	速さ・道のり・時間の計算	計算	105	57.1%	0	0.0%	76	41.3%	3	1.6%
	問2(1)	① 連立方程式の立式	選択	151	82.1%	1	0.5%	31	16.8%	1	0.5%
		② 連立方程式の立式	選択	149	81.0%	0	0.0%	33	17.9%	2	1.1%
	問2	(2) 連立方程式	計算	71	38.6%	40	21.7%	39	21.2%	34	18.5%
	問3	(1) 方程式の立式	立式	24	13.0%	0	0.0%	63	34.2%	97	52.7%
(2) 方程式		計算	4	2.2%	0	0.0%	59	32.1%	121	65.8%	
問題4	問1	1 電気使用料金の計算	計算	122	66.3%	0	0.0%	51	27.7%	11	6.0%
		2 電気使用料金の計算	計算	94	51.1%	0	0.0%	76	41.3%	14	7.6%
	問2	一次関数のグラフ	グラフ	59	32.1%	20	10.9%	69	37.5%	36	19.6%
	問3	一次関数の利用	グラフ・計算	48	26.1%	0	0.0%	84	45.7%	52	28.3%
問4	不等式の立式	立式	7	3.8%	0	0.0%	70	38.0%	107	58.2%	
問題5	問1	三平方の定理	計算	117	63.6%	0	0.0%	39	21.2%	28	15.2%
	問2	円の性質	選択	65	35.3%	0	0.0%	102	55.4%	17	9.2%
	問3	三角形の相似・三平方の定理	計算	3	1.6%	0	0.0%	111	60.3%	70	38.0%
	問4	回転体・球	計算	22	12.0%	0	0.0%	58	31.5%	104	56.5%
	問5	円周角の定理の逆	計算	4	2.2%	0	0.0%	54	29.3%	126	68.5%

令和2年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【理科】(答案数: 184)

問題番号	内容	出題形式	正解数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	① 花のつくり(子房)	記述 語句	135	73.4%	0	0.0%	43	23.4%	6	3.3%
		② 花のつくり(胚珠)	記述 語句	143	77.7%	0	0.0%	39	21.2%	2	1.1%
	問2	(1) 光合成の仕組み(二酸化炭素)	記述 語句	127	69.0%	0	0.0%	56	30.4%	1	0.5%
		(1) 光合成の仕組み(葉緑体)	記述 語句	161	87.5%	0	0.0%	23	12.5%	0	0.0%
		(2) デンプンが体全体に運ばれる仕組み	記述 語句	72	39.1%	0	0.0%	79	42.9%	33	17.9%
	(3) 双子葉類の師管の位置	選択 記号選択	91	49.5%	0	0.0%	93	50.5%	0	0.0%	
問題2	問1	飽和食塩水の密度	記述 計算	141	76.6%	0	0.0%	31	16.8%	12	6.5%
	問2	密度からプラスチックを区別する	選択 記号選択	151	82.1%	0	0.0%	33	17.9%	0	0.0%
	問3	プラスチックを区別するための水溶液の密度	記述 その他	130	70.7%	0	0.0%	37	20.1%	17	9.2%
	問4	識別マークからプラスチックの種類の判断	選択 記号選択	88	47.8%	0	0.0%	96	52.2%	0	0.0%
	問5	生分解性プラスチック	記述 語句	57	31.0%	0	0.0%	88	47.8%	39	21.2%
問題3	問1	活断層	記述 語句	157	85.3%	0	0.0%	21	11.4%	6	3.3%
	問2	地震が発生した時刻の計算	記述 計算	90	48.9%	0	0.0%	87	47.3%	7	3.8%
	問3	震源からの距離より地震計の記録を推測	選択 記号選択	153	83.2%	0	0.0%	29	15.8%	2	1.1%
	問4	(1) 震度5弱のゆれや被害の様子	選択 記号選択	133	72.3%	0	0.0%	50	27.2%	1	0.5%
(2) 緊急地震速報が伝わる時刻の計算		記述 計算	24	13.0%	0	0.0%	134	72.8%	26	14.1%	
問題4	問1	(1) 電流がつくる磁界の向き	選択 記号選択	87	47.3%	0	0.0%	96	52.2%	1	0.5%
		(2) 導線を流れる電流と磁界の強さの関係	選択 記号選択	144	78.3%	0	0.0%	39	21.2%	1	0.5%
	問2	電磁誘導のしくみ(磁界の変化)	記述 説明	63	34.2%	0	0.0%	106	57.6%	15	8.2%
	問3	誘導電流の流れる向きと大きさ制御の実験	記述 説明	50	27.2%	0	0.0%	121	65.8%	13	7.1%
	問4	コイルを2つ使った誘導電流の流れ方	選択 記号選択	60	32.6%	0	0.0%	123	66.8%	1	0.5%
問題5	問1	銅と化合する酸素の質量の比の計算	選択 記号選択	147	79.9%	0	0.0%	35	19.0%	2	1.1%
	問2	物質が空気中の酸素と化合する反応	選択 記号選択	105	57.1%	0	0.0%	77	41.8%	2	1.1%
	問3	(1) ゴム管を目玉クリップで閉じる理由	記述 説明	56	30.4%	0	0.0%	123	66.8%	5	2.7%
		(2) 酸化銅と活性炭の反応の化学反応式	記述 化学式等	82	44.6%	2	1.1%	69	37.5%	31	16.8%
(3) 酸化銅と活性炭の反応後の質量の計算		記述 計算	10	5.4%	0	0.0%	166	90.2%	8	4.3%	
問題6	問1	感覚器官	記述 語句	146	79.3%	0	0.0%	30	16.3%	8	4.3%
	問2	網膜の場所と名称	記述 語句	105	57.1%	0	0.0%	74	40.2%	5	2.7%
	問3	ヒメダカの刺激に対する反応	選択 記号選択	53	28.8%	0	0.0%	126	68.5%	5	2.7%
	問4	分解者と呼ばれる生物	選択 語句選択	154	83.7%	20	10.9%	9	4.9%	1	0.5%
問題7	問1	(1) 台車を引く力の作図	記述 作図	68	37.0%	0	0.0%	112	60.9%	4	2.2%
		(2) 台車を引く力の大小関係	記述 その他	90	48.9%	0	0.0%	93	50.5%	1	0.5%
	問2	時間と台車の速さの関係をグラフ	記述 作図	8	4.3%	2	1.1%	163	88.6%	11	6.0%
	問3	斜面をのぼる台車の速さと働く力の関係	選択 記号選択	159	86.4%	0	0.0%	23	12.5%	2	1.1%
	問4	斜面を下る台車の移動距離と時間	選択 記号選択	82	44.6%	0	0.0%	98	53.3%	4	2.2%
問題8	問1	地球型惑星	記述 語句	147	79.9%	0	0.0%	32	17.4%	5	2.7%
	問2	月の見え方	選択 記号選択	74	40.2%	0	0.0%	105	57.1%	5	2.7%
	問3	月と金星の動き	選択 記号選択	37	20.1%	0	0.0%	142	77.2%	5	2.7%
	問4	金星の見え方の変化	選択 記号選択	98	53.3%	0	0.0%	82	44.6%	4	2.2%
	問5	金星が真夜中に見えないことの説明	記述 説明	112	60.9%	1	0.5%	62	33.7%	9	4.9%

令和2年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【英語】(答案数:184)

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率		
問題1	問1	No.1	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	153	83.2%	0	0.0%	31	16.8%	0	0.0%
		No.2	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	164	89.1%	0	0.0%	20	10.9%	0	0.0%
		No.3	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	158	85.9%	0	0.0%	26	14.1%	0	0.0%
	問2	No.1	対話の聞き取り	記号選択	58	31.5%	0	0.0%	126	68.5%	0	0.0%
		No.2	対話の聞き取り	記号選択	165	89.7%	0	0.0%	19	10.3%	0	0.0%
	問3	まとまりのある対話の聞き取り	記号整序	171	92.9%	0	0.0%	13	7.1%	0	0.0%	
	問4	Ques.1	まとまりのある説明の聞き取り	単語補充	131	71.2%	0	0.0%	37	20.1%	16	8.7%
		Ques.2	まとまりのある説明の聞き取り	単語補充	45	24.5%	0	0.0%	82	44.6%	57	31.0%
		Ques.3	まとまりのある説明の聞き取り	英文記述	18	9.8%	23	12.5%	84	45.7%	59	32.1%
問題2	問1	No.1	対話文中の単語補充	単語補充	134	72.8%	0	0.0%	42	22.8%	8	4.3%
		No.2	対話文中の単語補充	単語補充	41	22.3%	0	0.0%	131	71.2%	12	6.5%
		No.3	対話文中の単語補充	単語補充	126	68.5%	0	0.0%	52	28.3%	6	3.3%
	問2	No.1	英文中の単語補充	記号選択	146	79.3%	0	0.0%	38	20.7%	0	0.0%
		No.2	英文中の単語補充	記号選択	175	95.1%	0	0.0%	9	4.9%	0	0.0%
	問3	対話中の語句整序作文	語句整序	82	44.6%	0	0.0%	99	53.8%	3	1.6%	
問題3	問1	No.1	対話文完成(英文記述)	英文記述	29	15.8%	57	31.0%	86	46.7%	12	6.5%
		No.2	対話文完成(英文記述)	英文記述	103	56.0%	7	3.8%	55	29.9%	19	10.3%
	問2	テーマ英作文(意見と理由)	テーマ英作文	26	14.1%	61	33.2%	64	34.8%	33	17.9%	
問題4	問1	・内容把握(英文選択)	記号選択	142	77.2%	0	0.0%	42	22.8%	0	0.0%	
	問2	・内容把握(英語補充)	単語補充	19	10.3%	11	6.0%	136	73.9%	18	9.8%	
	問3	A	・内容把握(和文記述)	日本文記述	87	47.3%	38	20.7%	42	22.8%	17	9.2%
		B	・内容把握(和文記述)	日本文記述	102	55.4%	23	12.5%	35	19.0%	24	13.0%
	問4	・内容把握(英文選択)	記号選択	93	50.5%	0	0.0%	90	48.9%	1	0.5%	
	問5		・内容把握(英文選択)	記号選択	123	66.8%	0	0.0%	60	32.6%	1	0.5%
			・内容把握(英文選択)	記号選択	142	77.2%	0	0.0%	39	21.2%	3	1.6%
問題5	問1	A	・内容把握(年数記述)	西暦記述	168	91.3%	0	0.0%	14	7.6%	2	1.1%
		B	・内容把握(年数記述)	西暦記述	161	87.5%	0	0.0%	21	11.4%	2	1.1%
	問2	・内容把握(和文選択)	記号選択	156	84.8%	0	0.0%	28	15.2%	0	0.0%	
	問3	・内容把握(英語補充)	単語補充	23	12.5%	13	7.1%	127	69.0%	21	11.4%	
	問4	・内容把握(英文選択)	記号選択	133	72.3%	0	0.0%	49	26.6%	2	1.1%	
	問5	・内容把握(和文記述)	日本文記述	74	40.2%	30	16.3%	48	26.1%	32	17.4%	
	問6	・意見英作文(英語記述)	英文記述	47	25.5%	58	31.5%	43	23.4%	36	19.6%	